

# 2022年度年間指導計画

		園長	主任	担任	
【5歳児】					
年間目標 (育てたい子どもの姿)	・快適な園生活を楽しむ中で情緒の安定を図るとともに健康、安全など基本的な生活習慣や態度を身につける。 ・集団的な遊びを通して体を動かしたり、友達との関りを深め意欲的、創造的な活動をする中で充実感を味わわせ、自主、協調の態度を養う。 ・自然や身近な事象に興味、関心を持ち豊かな心情、想像力、知的好奇心を高める。	園目標 ・元気で明るい子(たつぷり遊んで、よく食べて、ぐっすり眠る) ・意欲を持って行動できる子(十分に育ちを見守られながら、さまざまな体験を通して、豊かな感性を育てる)	評価・反省		
	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿				
ア 健康な心と体 ・ イ 自立心 ・ ウ 協同性 ・ エ 道徳性・規範意識の芽生え ・ オ 社会活動の関わり カ 思考力の芽生え ・ キ 自然との関わり・生命尊重 ク 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ 言葉による伝え合い ・ コ 豊かな感性と表現					
期	1期(4月～5月)	2期(6月～8月)	3期(9月～12月)	4期(1月～3月)	
行事	入園式、こいのぼり集会、サッカー教室、親子交流会(クラス懇談会)、内科健診、誕生会、身体測定、避難訓練	水遊び、七夕、夏祭り、歯科健診、誕生会、身体測定、避難訓練	さつまいも掘り、運動会、ハロウィン、クリスマス会、誕生会、身体測定、避難訓練	節分、生活発表会、ひな祭り、お別れ会、卒園式、誕生会 身体測定、避難訓練、お別れ遠足	
ねらい	・思いを保育者に認められ、安心して快適な生活をする。 ・5歳児としての自覚をもち、生活に必要な決まりを守り、日々の活動を楽しむ。 ・春の自然や動植物に興味や関心をもって関わる。	・夏の遊びや生活を通して経験を広げ、友だちや異年齢児と楽しく関わる。 ・自分の健康状態を知り、休憩や水分補給などを適切に行う。	・友達と共通の目的をもち、協力して活動に取り組み、満足感や達成感を味わう。 ・友だちと意見を出し合い、イメージを膨らませながら遊びを展開する。	・就学への期待や不安を保育者に認められながら、自信や自覚をもって充実した生活を送る。 ・友だちと互いのよさを認め合い、遊びや生活を進める楽しさを味わう。	
養護	・新しい環境の中で、様々な気持ちを受け止めてもらい、安心して生活し、新しい環境に慣れる。 ・健康的な生活の仕方を知り、身の回りのことを自分から進んで行おうとする。 ・思いや欲求を受け止められ、楽しい雰囲気の中で安心して過ごす。 ・年長クラスになり不安や嬉しい気持ちなどの感情を友だちや保育者と共有しながら過ごす。	・気候や体調、活動内容に応じて適切に調節された環境で健康に過ごす。 ・気持ちや考えを認めてもらい、安心して自分の思いを表現する。 ・保育者の手伝いを通して簡単な掃除などを行い保育室をきれいに整えようとする。	・天候や気候に応じて自分で衣服を調節しながら生活する。 ・けがをした時の処置、体調が優れない場合にはどうしたらよいかを考え、保育者に伝え供に行動する。 ・活動を通して友だちとのつながりが深まる中、安心して自己を発揮する。 ・思いに共感してもらい、励まされながら、安心して自己を表現し、楽しく過ごす。	・成長を認められ、就学への喜びや期待を膨らませ、意欲的に生活する。 ・冬の健康的な生活習慣を身につけ、自信をもって生活する。 ・自分の思いを保育者に話すことで落ち着いて生活する。 ・協同し創造力を発揮して言葉、動き、音、道具を工夫して創作や表現を楽しみ達成感を味わう。	
教育	・友だちや保育者と体を動かす遊びを楽しみ、積極的に体を動かす楽しさや、心地良さを味わう。 ・クラスの友だちや年下の友だちと親しみ、思いやりをもって進んで関わろうとする。 ・身近な動植物など春の自然に興味や関心をもち、見たり触れたりしながら遊びに取り入れる。 ・友だちや保育者と春の歌を歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりして楽しむ。  ・保育者や友だちとの会話を楽しんだり、人の話に注目して聞こうとしたりする。 ・文字遊びなどを通して、文字に興味や関心を持つ。 ・一日のタイムスケジュールや時間を意識しながら予測を立てて過ごす様にする。	・友だちと一緒に水、砂、泥などに触れ、感触を楽しむ。 ・約束を守る大切さを理解し、安全に水遊びを楽しむことができるようにする。 ・自分の思いを伝えたり、相手の思いを受け入れたりしながら気の合う友だちやグループで話し合い、集団で遊ぶ楽しさを味わう。 ・様々な人と積極的に関わりながら、楽しい時間を共有するとともに思いやりや、いたわりの気持ちを持てるようにする。 ・身近な素材や用具で表現することを楽しむ。 ・絵本や物語に親しみ、内容を想像しながら読んだり、聞いたりする。 ・季節の歌を歌ったり、踊ったりして音楽に親しむ。	・友だちと思いきり体を動かすことを喜び、ルールを守って遊ぶ。 ・風邪や感染症の予防を意識し、手洗いうがい等を自ら進んで行う。 ・遊びを通して、共通の目的や課題をもち、友だちと役割を分担しながら取り組む。 ・新しいことに挑戦する楽しさを知り、何事も積極的に取り組む。 ・秋から冬への移り変わりに気づき、自然現象や身近な植物の変化に興味を持つ。 ・自然物を使って、自由に製作を楽しむ。 ・自信をもって自分の意見を発言することができ、友だちの言葉にも耳を傾ける。	・冬に必要な生活習慣を身に付け、健康に過ごす。 ・寒さに負けず、友だちと積極的に体を動かしたり、ルールのある遊びを楽しんだりする。 ・友だちとの関わりの中で、良い事、悪い事を自分で判断して行動する ・一緒に過ごした友だちに対し、感謝の気持ちを持つ。又、異年齢児との交流を通じたいたり思いやりの気持ちを持つ。 ・冬の身近な自然に興味を持って遊び、動植物の様子から春の訪れを感じる。 ・雪や霜柱など、冬の自然に触れて遊び 興味や関心を持つ。 ・日常生活に必要な言葉をその場に応じて適切に使う。  ・歌詞の意味を知り、気持ちを込めて歌う楽しさを味わう。 ・遊びや当番活動を通して、互いに考えを出し合ったり自分で決まりを作ったりするなど創意工夫して遊ぶことを楽しむ。 ・みんなで1つのことをやり遂げる達成感を味わう。	
環境構成と配慮	・緊張や不安な気持ちを受け止め、丁寧に接しながら信頼関係を築き、子どもたちが安心して過ごせるように心がける。 ・自分できょうとする気持ちを認め、できたときは褒めるなどして意欲がもてるようにする。 ・自分の思いや考えを互いに伝え合う姿を認め、さらに深まる様、問いかけたり共感したりなど、語り合いの援助を行う。	・安全について具体的な場面をとらえ、気づくように伝えたり、みんなで考え合ったりしながら約束を守って楽しく遊びが進められるようにする。 ・室内の環境を整えるとともに、活動のバランスも考えていく。 ・自信をもって、自分の思いや考えを表現できる雰囲気をつくる。 ・話し合いの場や生活の振り返りを生活の流れの中に位置づけて、計画や整備、反省を行い一人ひとりの存在を認めていく。	・子どもが十分に考えを出し合ったり、話し合ったりできる時間や場を確保し、友だちと一緒に取り組もうとする姿を認め、楽しさや満足感を味わえるようにする。 ・子どもの思いを温かく受容し、安心して自己発揮できるようにする。 ・行事ごとに目標を作り、それを掲げながら意欲的に取り組めるようにする。	・文字、数に触れられるような遊びを行ったりしながら自ら興味をもって理解に繋げられるようにする。又、個人差を配慮し無理なく進めていく。 ・異年齢や他クラスの保育者などと触れ合う場を設け、感謝の気持ちももてるようにする。 ・緊張をほぐす言葉かけをするなどし、喜びの気持ちで卒園式に臨めるようにする。 ・クラス全体で取り組む活動の中で、一人ひとりの力が発揮できたり、互いに認めて協力したり、工夫し合ったりできる環境を整える。	
支援者	・5歳児になって張り切っている子どもの姿、当番活動の内容などを具体的に伝え、保護者も共に喜びを感じられるようにする。 ・懇談会等を通じて5歳児としての活動を伝え、園への理解と、様々な面での協力を得られるようにする	・汗をたくさんかくので、着替えの衣類の有無を毎日確認してもらう。 ・夏の暑さで体調を崩しやすいので、食事や健康状態を把握し、生活リズムを整えるように伝える。 ・園での遊びや生活、友だちとの関わり、成長したところなどを伝え、子どもにとって必要な経験や家庭での過ごし方について語り合う。	・朝夕の気温差があるので、調節しやすい衣服を用意してもらう。 ・運動会等で力いっぱい取り組んでいる姿や成長した姿を互いに伝え、喜び合う。 ・感染症の流行の状況を伝え、手洗い、うがいを家庭でも行ってもらう。 ・日頃の保育での取り組みや、子ども達の頑張りを伝え、家庭での話題にしたり継続して取り組めるよう連携していく。	・子供の成長した姿を伝え、就学に向けての不安や期待する気持ちを受け止める。 ・卒園に向けての取り組みや内容を知らせ、卒園準備への理解を得る。 ・子どもの育ちや課題を通して、就学までに準備しておくことを伝える。	
食育	・基本的なマナーを身に付け、楽しい雰囲気の中で食事が進むようにする。 又、箸や食器を正しく持って食べる。 ・様々な食材に興味をもち、食感や味がわかるように、よく噛んで食べる習慣を身に付ける。  ・植物の生長を楽しみしながら観察をしたり、収穫をしたりする。	・体と食べ物との関係に興味をもち、苦手な食品も食べてみようとする。 ・食べ残しや食べこぼしがないよう、食べ物を大切にすることができるようになる。 ・自分で場をきれいに整えていく。 ・食器に手を添える、食器を持って食べる、箸を正しく使って食べるなどマナーを意識しながら食事をすすめる。	・食後は、自分のテーブルを確認し、汚れていたら台ふきんで拭き、きれいにする。 ・保育者と一緒にエプロン、三角巾を身に付けて給食の配膳を進んで行う。 ・食材に触れ、調理体験をすることで、食への興味を深める。 (感染状況による)	・一定の時間の中で食事をしようとする。 ・空腹や満腹という感覚を大切に、食事への意欲や楽しさを味わう。 ・衛生面等について自ら意識しながら配膳(食事)の準備をする。	